



# みどりの里だより

第8号

発行：2021年10月

## 巻頭あいさつ：みどりの里移転1周年

みどりの里が築港地区に移転して無事1年を迎えることができました。これも、こころよく受け入れてくれた済生会小樽病院の皆様、そして築港ベイエリアの皆様のおかげです。ありがとうございました。1年前、コロナに十分注意しての引っ越しでしたが、今に至っても状況が好転していないのが残念です。

さて、老朽化した長橋のみどりの里からの移転です。新みどりの里は空調・冷暖房が完備し快適な冬、そして夏を過ごすことができました。特に今年の夏は30℃以上の酷暑が2週間に亘って続きましたが、何とか凌ぐことができました。新みどりの里の壁は薄いクリーム色を基調とした明るい色で清潔感に溢れています。病棟面積は今までの1.5倍以上となりゆったりです。そのせいか、利用者さんがリラックスして過ごせております。交通の便も良くなり、外来通院の皆さんや、面会に来られる家族の方々には喜ばれています。障がい児(者)の入所施設は清逸な郊外に在ることが多いのですが、今回、街中の築港地区に降りてきました。利用者さんが地域の文化に触れ、住民の皆さんと交流できるようになりました。では、今後とも、新しいみどりの里を宜しくお願い致します。



施設長 堤 裕幸

### 今号の内容

#### ○イベント紹介

劇団みどり「シンデレラ」/春のお楽しみ会/リハビリテーション大運動会/七夕

#### ○レクリエーション活動2021 in みどりの里

#### ○リハビリテーションの活動

#### ○お知らせ ご家族からの声/利用者さんの作品展示



## みどりの里の理念

私たちは一人ひとりの命の輝きを見つめ、  
安全で心のこもった療育の提供に努めます。

# イベント紹介

2021年3月～2021年9月

昨年度に引き続き、感染対策を徹底しながらのイベント実施となっています。例年の外出レクも難しい状況でしたが、広くなった施設を存分に活用し、日常とは少し違った体験ができるよう行いました。

## 劇団みどり「シンデレラ」

3/16



「劇団みどり」はリハビリテーションの一環として、各フロアの利用者さんによる劇団員8名で活動し、年2回の施設内公演を行っています。

3月には2020年度2回目の公演となる、「シンデレラ」が開催されました。劇団員の努力の甲斐あり、変身シーンやダンスシーンなどこれまでの題目と違った新しい見どころが満載の公演になりました。劇団員の皆さんは、練習通りに緊張せずスイッチを押せたり、緊張しながらもセリフを言い遂げられた方、自分の番を少し待てた方など、半年の練習の成果が出ていました。

## 春のお楽しみ会

5/12

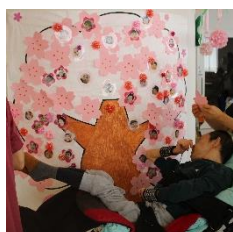
お楽しみ会といえば特別メニューの昼食。「春のお楽しみ食」と題し、お刺し身3点盛りやメンチカツなど5品が提供されました。どれも手の込んだ内容で、利用者さんはおいしそうに召し上がっていました。おやつは抹茶プリンなど3品が提供されました。少し小さ目に作り、食べやすいように工夫されています。

お食事のあとは各フロアにて様々な催し物が企画されました。



### ひかりのフロア

「桜の木に花を咲かせましょう」と題した企画が行われました。顔写真が印刷された花と、花に見立てた装飾をお部屋まで探しに行き、デイルームに用意された木に貼り、見事な桜の木が完成しました。



### きずなのフロア

春らしくピクニックの雰囲気を感じていただけるように装飾をし、合奏・パネルシアターが行なわれました。



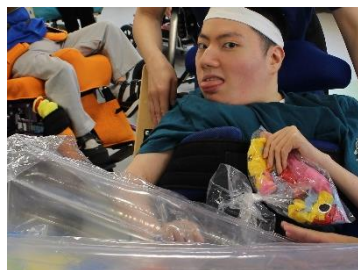
### つばさのフロア

花の部屋・森の部屋・空の部屋をテーマに3つの部屋を装飾しました。装飾は利用者さんと共に作成しました。アロマの香りを楽しんだり、ポンプを使って流れる水の感触を楽しめるよう工夫しました。



年に1度、リハビリテーションの成果を存分に発揮して競い合うイベント「リハビリテーション大運動会」が今年も開催されました。種目は徒競走、集団競技、車いすダンスなどがあり、練習から精力的に取り組みました。当日は参加者の皆さんも気合いが入り、練習の成果を存分に発揮できる方、緊張のあまり思ったように身体が動かない方など様々でした。それぞれが色々な思いで参加し、競技を楽しまれていました。集団競技では魚取り大会を行い、チームごとに力を合わせて生簀いっぱい魚を取る事ができていました。最後の車いすダンスでは、チームの垣根を越えて某K-POP曲に合わせてみんなで一緒に踊りました。

結果は赤組の勝利となりましたが、それぞれ日頃のリハビリテーションの成果を発揮することができたと思います。



## 七夕

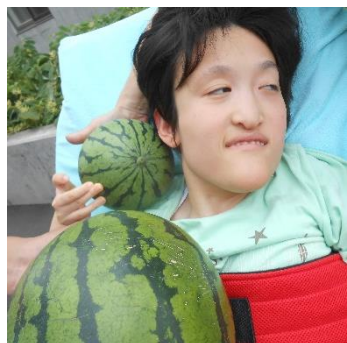
8/2~10

8月初めの9日間、七夕行事が行われました。色とりどりの短冊やモールを選び、好みのシールを貼って願い事を書きました。利用者さんは、自ら書かれた方や、職員に代筆を依頼する方もいらっしゃいました。短冊を拝見すると、やはり新型コロナウイルス感染症終息の願い事が多く見受けられました。また、ご家族との再会を願う想いを記されている短冊もありました。

以前のように利用者さんとご家族が自由に触れ合える日常に戻る事を切に願い、2021年の七夕行事は終了しました。



## ガーデニングチーム きらり



「昨年からのコロナ禍で思うように活動できない閉塞感が漂う中、我慢を強いられている利用者さんや、いつか訪れるご家族や来客の方々に、素敵な景色を見ていただきたい。」この一心で有志を募り、5名の精鋭によるガーデニングチーム「きらり」が結成されました。

施設前・施設裏に設けられた花壇や植木鉢に花の苗が植えられ、水やりや雑草取りなど行われました。中には夜勤明けで帰宅前に手入れをする職員もいました。ラベンダーも植えられ、刈り取られたラベンダーは乾燥させポプリに。スイカの苗も植えられ、見事な大玉に成長しました。スイカは利用者さんがおいしく召し上がっていました。もうすぐ長い冬がやってきますが、雪が解けてから施設周辺が花いっぱいになる事を楽しみにしています。

# レクリエーション活動2021 in みどりの里

## 喫茶店・買い物

買い物は、事前にiPadで選んでいた商品を、特製のギフトカードと交換して受け取りました。喫茶店は、リハビリテーションホールにこの日限定の「みどりcafé」がオープン。参加メンバーはケーキや飲み物を召し上がった後、おしゃれにアレンジした帽子をかぶって店員さんになりました。ケーキやジュースをお盆に載せて渡すなど、それぞれの得意なことを活かした接客を楽しまれていました。



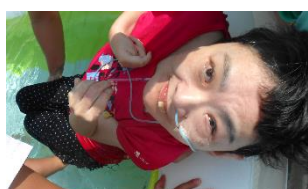
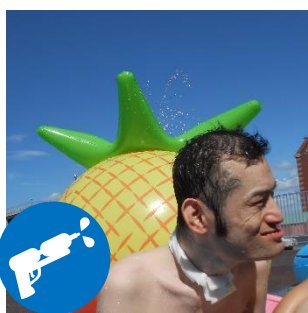
## カラオケ大会

まずは屋上でランチタイム。「はま寿司」「びっくりドンキー」「桂苑」の3店のメニューから好きなものを選び、みんなで食べました。天候にも恵まれ、いつもと違う景色と開放感の中で笑顔で食事をされていました。午後はカラオケ大会。屋外でのカラオケは初めてで、マイクを離さない方や楽器を鳴らして参加している方など、それぞれ楽しまれていました。



## 水遊び

屋上にビニールプール3個と噴水が設置され、利用者さんも職員もびしょびしょになりながら水遊びをしました。にぎやかな雰囲気、最初は控えめだった方たちも、だんだん笑顔や生き生きとした表情になって楽しまれていました。数十年ぶりに水に入って、ぶかぶかたかた浮かぶ感覚を楽しめた方もいました。プール横には足湯も設けられ、外の空気を感じながらゆったりと過ごされていました。



## アート体験

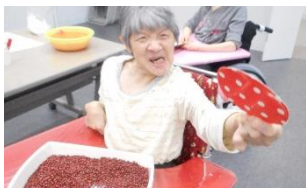
大きな布にいろいろな方法で色を付けて、「みどりの里」のタペストリーを作成しました。活動のテーマは「芸術を爆発させよう！」とし、絵の具入りの水風船に針を刺して文字通り「爆発」させたり、電動霧吹きで色水を吹き付けたりと、ダイナミックに色を付けました。床に座って手足や身体全体を使って色を付けている方もいて、色を塗る感触を楽しまれている様子でした。



## 宝探し

宝の地図を手にとったら、宝探しのスタート！地図には、宝物があるのが何階かが書いてあります。しかし、この数字を知るためには、2階の各所にあるお題をクリアしなければなりません。

砂の中に埋まったお皿の色を答えたり、紐を引っ張ってアタリを探したりと、いろいろなお題がありました。見事7個のお題をクリアすると、宝物にたどり着きます。好きなお宝を選んで、満足した表情をされていました。



10月には「ゲーム大会」も予定しています。

このほかに、集団での活動よりも個別でゆっくりと活動する方が好きな利用者さんには、職員と1対1で過ごすレクリエーションを企画しました。ひとりひとりに合った楽しみ方ができたのではないかと思います。

# リハビリテーションの活動

## グループ活動

機能訓練課では、集団場面において1人1人の能力を発揮し、役割をもって活動することで達成感・充実感を得ることや、生活における所属感を得ることを主な目的に様々な活動を行っています！グループの目的に沿った利用者さんがメンバーとして参加されています。

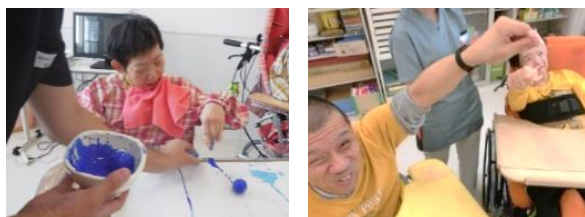
### 劇団みどり

年に2回行われる公演を目標に取り組んでいます。各自の表現方法を駆使して役を演じる練習を重ねています。4月からは新メンバーも加わりました。新生劇団みどりの報告をお楽しみに！



### クラフトサークル

利用者さん同士が協力し合い、1つのテーマに沿って制作活動を行っています。道具や方法を工夫し、利用者さんそれぞれが力を発揮できるように取り組んでいます。

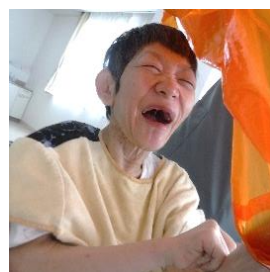


## 朝の会・昼の会

4月からリハビリスタッフによる「朝の会・昼の会」が始まりました。身体を起こして活動しよう！ということで、毎日各フロアの入浴時間に、入浴のない方を対象にデイルームで活動しています。

会は、あいさつに始まり、一人一人の名前を呼び、今月の歌を歌い、週替わりの活動を行っています。活動は歌遊びや、ボールを使った遊びなど、様々な活動を企画しています。笑顔で活動を楽しんでくださる人、しっかり見たり聞いたりして下さっている人、少し緊張している人、いろいろな反応があります。

リハビリのスタッフも初めての取り組みで試行錯誤の毎日ですが、利用者さんにとって有意義で楽しく参加できる時間になるよう頑張っています！



# お知らせ

## ご家族からの声

2020年12月に、みどりの里サービス向上委員会から利用者さんのご家族へ、みどりの里へ対するご意見をアンケート方式で集めました。頂いたご意見の一部をご紹介します。

コロナで面会ができないので、子どもに関する情報が欲しいです。

日頃より当施設での感染症対策にご理解・ご協力を下さりありがとうございます。面会制限が続く中、お子さんの様子をご心配されていることと思います。

日々の姿をお知らせするため、月に1回、利用者さんの様子を綴ったお手紙と一緒に写真を入れて郵送することに致しました。他のご家族からは「請求書の中に〇〇ちゃんの写真が2枚入っていました。嬉しかった～しばらくあっていないから…（中略）1枚の写真が親の心を安心させてくれます。」という声も頂きました。今後も状況に応じ、コロナ終息まで可能な限り対応していきたいと思います。

面会時、医師先生方は挨拶するが、看護師・介護員はしない人がいる。

この度はご不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。

現在北海道済生会において「北海道済生会接遇プロジェクト」を始動して、接遇強化・改善に向けて話し合いと取り組みを行っております。支部全体でのプロジェクトをみどりの里職員一人一人に周知できるよう努め、より良い接遇を目指してまいります。今後もお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。

今後も開かれた職場を目指して、積極的にご意見を募っていきます。忌憚のないご意見をお願いいたします。頂いたご意見に対しては真摯に受け止め、施設として対策を検討して、実践に繋げていきたいと思っております。

## 利用者さんの作品展

みどりの里の施設内では、1階の受付横「ヴィレッジアート」や2階廊下などに利用者さんの作品展スペースがあります。施設内で制作したさまざまな作品を、定期的に入れ替えながら展示しています。ウイングベイ小樽1階にある済生会ビレッジでもアート展を開催し、現在は本誌5ページ目でご紹介したレクリエーション活動「アート体験」の作品などを展示しています。



## 津川医師叙勲

当施設の津川敏医師が、令和3年春の叙勲において瑞宝小綬章を受章されました。当施設の前身である国立療養所小樽病院では昭和59年から平成3年まで院長、済生会への移譲後は平成20年から平成26年まで施設長、平成22年から平成29年まで院長を務められました。外来診療にも精力的に取り組み、長年にわたり施設内外での医療活動にご尽力されています。今回の叙勲を受け、職員有志からは記念品として花瓶と胡蝶蘭を贈呈いたしました。



## ご協力ありがとうございます

2021年4月～2021年9月

企業・団体名	内容
有楽製菓株式会社 様	お菓子の寄贈
北海道アイスクリーム協会 様	アイスクリームの寄贈

日本ホスピタル・クラウン協会のクラウンさんから、七夕飾りのプレゼントを頂きました。



津川医師より、サクラの木2本とオノキの木2本が寄贈されました。みどりの里の正面玄関前の花壇に植えられています。



## 2021年度後半の行事予定

11/10  
~12

新成人を祝う会

ひかりのフロア（A病棟）：11/11  
きずなのフロア（B病棟）：11/10  
つばさのフロア（C病棟）：11/12

2/3

節分

3/3

ひなまつり

12/15

クリスマス会

※日程は変更になる場合があります。

発行

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 北海道済生会小樽病院  
重症心身障がい児(者)施設 みどりの里  
〒047-0008 北海道小樽市築港10番1号  
TEL：0134-32-5131 FAX：0134-29-2164

